舞鶴市の小・中学校のいまとこれからについて

１．アンケートをお願いする背景

●教育委員会では、学校において、子どもたちは集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくことが大切であると考えています

●そのため、学校にはある程度の子どもたちの人数が必要ですが、全国的な少子化で、舞鶴市立の小・中学校では子どもたちの人数が少なくなっており、学校の「小規模化」が進んでいます

●その影響で、「クラス替え」ができなかったり、一部の小学校では、2 つの学年が同じ教室で授業を受ける「複式学級」が生じたりしています

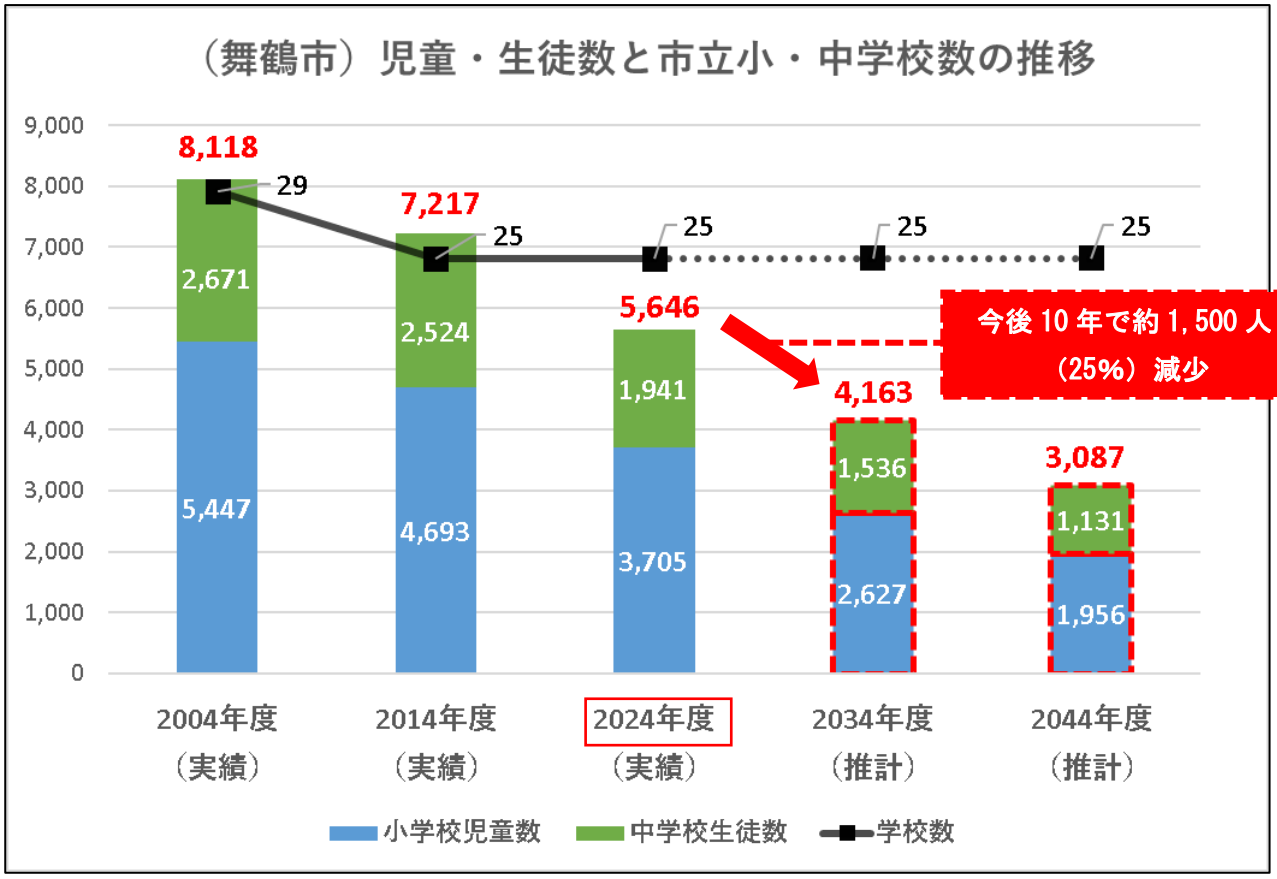
●こうした状況を踏まえ、今後、教育委員会では、将来にわたる子どもたちのより良い教育環境を目指して、学校のあり方の方向性（ビジョン）を作っていくこととしています

●このアンケートは、それに先立ち、保護者の皆様の大切なお考えをお聞きするものです。次からの説明もご一読いただき、ぜひご協力をお願いいたします

２．児童・生徒数が大きく減少しています（年間で約 100～150 人ずつ）

●舞鶴市の子どもたちの人数は、年間で約 100～150 人ずつ減少しています

●今後 10 年で、今よりさらに約 1,500 人減少すると見込んでいます



３．学校の小規模化が進んでいます

●今は標準規模の学校も、将来、その一部は小規模校になる見込みです

（舞鶴市）10年後・20年後の各学校の児童・生徒数の推計

小学校

規模（2024年度）	学校名	全校児童数 今年 2024年度（実績）	全校児童数 今年 （参考）クラス数	全校児童数 10年後 2034年度（推計）	全校児童数 20年後 2044年度（推計）
小規模	三笠小	130	6	**92**	**57**
	倉梯第二小	227	11	**206**	**166**
	与保呂小	96	6	**73**	**43**
	志楽小	278	11	**135**	**68**
	朝来小	117	6	**52**	**26**
	大浦小	42	6	**28**	**15**
	中舞鶴小	196	7	**128**	**81**
	吉原小	29	5	**12**	**2**
	池内小	47	5	**22**	**12**
	福井小	111	6	**55**	**34**
	高野小	112	6	**58**	**30**
	岡田小	59	6	**15**	**2**
	由良川小	40	6	**10**	**1**
標準規模	新舞鶴小	536	18	**454**	**387**
	倉梯小	424	14	**281**	**189**
	明倫小	273	12	**207**	**160**
	余内小	334	12	**287**	**236**
	中筋小	654	23	**512**	**448**

中学校

規模（2024年度）	学校名	全校生徒数 今年 2024年度（実績）	全校生徒数 今年 （参考）クラス数	全校生徒数 10年後 2034年度（推計）	全校生徒数 20年後 2044年度（推計）
小規模	和田中	90	3	**76**	**68**
	城北中	377	11	**308**	**244**
	若浦中	83	3	**49**	**23**
	加佐中	63	3	**24**	**11**
標準規模	青葉中	480	13	**408**	**304**
	白糸中	468	13	**343**	**258**
	城南中	380	12	**328**	**223**

※標準規模とは、全学年で12～18クラス（小学校で各学年2～3クラス、中学校で各学年4～6クラス）を編成できる規模を指します。（平成27年1月27日文部科学省「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」より）

※2034年度・2044年度の推計人数は、これまでの減少率を将来に適用した試算値です。